



# 第25回やまなし県民文化祭

## 文学作品 公募要項

- 趣 旨** 県民のだれもが気軽に参加し、楽しみ合う中で文学創作活動の活発化を期待し、それによって本県の文学振興をはかる。
- 種 目**
  - 小説=B4 縦書き400字詰原稿用紙30枚以内とする。
  - 児童文学（子どものための文学、ヤングアダルト小説など）  
=A4縦書き400字詰原稿用紙20枚以内とする。
  - エッセイ=A4縦書き400字詰原稿用紙5枚以上10枚以内とする。
  - 詩 =A4縦書き400字詰原稿用紙を使用し、本文100行以内1人2篇以内とする。
  - 短 歌=B4縦書き400字詰原稿用紙を使用する。1人10首。
  - 俳 句=A4縦書き400字詰原稿用紙を使用する。1人10句。
  - 川 柳=B4縦書き400字詰原稿用紙を使用する。1人10句。
- 募集締切** 令和8年10月31日（土）（郵送は当日消印有効）
- 応募料**
  - 1人につき1,500円（高校生以下の応募料は無料）  
（1作品につき1,500円ではないので注意。複数応募の場合も応募料は1,500円でよい）
  - 作品応募の際、**応募者氏名（本名）**にて下記口座に応募料を振り込み、**振り込んだことがわかる用紙（振込明細書等、コピーでも可）**を同封すること。**現金や郵便定額小為替証書での応募は不可。郵便法違反となるため、絶対に現金を同封しないこと。**
  - 【振込先】山梨中央銀行 県庁支店 普通）630800  
やまなし県民文化祭実行委員会（文学部門）
- 送り先・問い合わせ先** 〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1  
やまなし県民文化祭文学作品公募係（県文化振興・文化財課 文化芸術振興担当）  
TEL 055-223-1797
- 発 表** 令和8年（2026年）12月下旬～令和9年（2027年）1月中旬に受賞者へ通知する。  
入賞・入選作品は「県民文芸」に掲載する。（令和9年（2027年）2月下旬に発行予定）  
なお、発表までは受賞作品・作者についてのお問い合わせにはお答えすることはできません。
- 表 彰 式** 令和9年（2027年）2月27日（土）山梨県防災新館1階オープンスクエアにおいて行う。
- 選 奨** 種目ごとに県民文化祭賞（賞金3万円）、優秀賞若干名を選奨する。  
なお、優秀賞の中で特に優秀な作品については準県民文化祭賞を授与する場合もある。
- 審 査 員** 裏面参照
- 応募規定**
  - A) 山梨県民（在住・在勤・在学）及び出身者。
  - B) 応募票（コピー可）に必要事項を明記し、切り取って各作品すべての1枚目の裏面左下に貼る（裏面記入例を参照）。
  - C) タイトルは原稿用紙1枚目の表面に、氏名（ペンネーム）は1枚目の裏面右下に記載する。
  - D) 小説、児童文学、エッセイ、詩の原稿には必ずページ数を記載すること。
  - E) 短歌、俳句、川柳の原稿は必ず1枚の原稿用紙に全首・句を記載すること。
  - F) 各作品1枚目の表面右上の余白に種目（小説・俳句・川柳などの別）を明記（朱書）する。
  - G) 作品はすべて未発表であること。既発表作品が入賞した場合は取り消す。
  - H) AIの使用は不可、発覚した場合は入賞を取り消す
  - I) 応募作品は入選発表（県民文芸発刊）までは他に投稿又は発表してはならない。
  - J) 同一種目に複数のペンネーム等を用い、2の種目の項に定める制限を超えて投稿してはならない。
  - K) 自筆による場合、鉛筆の使用は禁止（ボールペン・万年筆使用）、楷書で明確に書くこと。
  - L) この要項に該当しないものは審査の対象としない。
  - M) 応募作品の訂正ならびに差し替えはしない。但し、審査後、誤字脱字等の修正をお願いする場合があります。
  - N) 応募作品は返却しない。
  - O) 審査に関する業務に従事する関係者に接触をし、又は接触を求めた場合、その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある行為を行った事実が認められた場合は応募を取り消します。
- そ の 他**
  - 応募された方の個人情報、第25回やまなし県民文化祭（文学部門）のみに使用（県民文芸への掲載、入賞入選者の氏名等の公表を含む）し、その他の目的に使用することはありません。
  - 文学作品を応募した方（応募料無料のため高校生以下は含まない）には、県民文芸を1冊贈呈します。
  - 来年度の文学部門公募要項を希望する方は、110円切手を貼付した長形3号の返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を記入し、左下に「文学要項希望」と朱書きしたもの）及び申込書を郵送してください。作品を応募される方は同封してお送りいただいで結構です。
  - 表彰式に際しては、感染症等の状況により、中止や内容変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。

主催 山梨県・やまなし県民文化祭実行委員会 共催 山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟

第25回やまなし県民文化祭 文学作品応募票 ※作品1頁目裏面にのりづけする			
応募料を振り込んだことがわかる用紙（振込明細書等、コピーでも可）を同封しました。 <input type="checkbox"/> (チェック欄)			
種 目		作 品 名	(短詩型はあれば記入)
ふりがな		ふりがな	
氏名(本名)		ペンネーム (あれば)	
現住所	〒	電話番号	( )
住所が山梨でない場合、出身地		携帯電話	( )
年 齢		性 別	男 ・ 女
		職 業	

キリトリ線

来年度（第26回やまなし県民文化祭）の文学部門公募要項 申込書			
長形3号の返信用封筒（110円切手貼付・郵便番号・住所・氏名記入済み）を添えて同封しました。 <input type="checkbox"/> (チェック欄) ※注意※切手の貼り付けがない場合は、申込無効となります。			
氏 名		電話番号	( )
住 所	〒	携帯電話	( )
第25回県民文化祭 文学作品の応募 有 ・ 無			

### ■「県民文芸」購読のご案内■

第25回やまなし県民文化祭文学部門の入賞入選作品を掲載する「県民文芸」を販売します。どなたでも購入可能です。購入を希望される方は、下記申込書に記載のうえ、振込先に冊子代と送料分の料金を振り込み、振り込んだことがわかる用紙（振込明細書等、コピーでも可）を同封し、送り先までご郵送ください。

※文学作品を応募した方（応募料無料のため高校生以下は含まない）には、1冊贈呈します。追加で購入される場合には、下記申込書によりご購入ください。

※令和9年（2027年）3月26日（金）までに発送予定です。お手元に届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

- 料 金 「県民文芸」1冊1,500円（送料 何冊でも 200円）
- 振 込 先 山梨中央銀行 県庁支店 普通）630800  
やまなし県民文化祭実行委員会（文学部門）
- 送 り 先 ・ 問 い 合 わ せ 先 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
やまなし県民文化祭文学作品公募係  
TEL 055-223-1797

キリトリ線

「県民文芸 2026」申込書			
冊子代・送料を振り込んだことがわかる用紙（振込明細書等、コピーでも可）を同封しました。 <input type="checkbox"/> (チェック欄)			
注文冊数	冊	代 金	1,500円× 冊 (注文冊数) +200円 (送料) = 円
氏 名		電話番号	( )
住 所	〒		

〈記入例〉

400字詰原稿用紙

No. \_\_\_\_\_

ページ数

朱書

種目・「タイトル」

1枚目 表面

文学作品応募票

氏名（ペンネーム）

1枚目 裏面

〈審査員プロフィール〉

小 説	<p><b>石黒 佐近(いしぐろ さこん)</b> 甲府市在住。京都府立大学卒業、同大学大学院農学研究科修士課程修了。「山峡」で樋口一葉記念第23回やまなし文学賞受賞。2021年「甲斐の夜長」で山日新春文芸入選。元山梨県庁職員。山梨文芸協会事務局長。</p> <p><b>小池 映二(こいけ えいじ)</b> 甲府市在住。明治大学卒。山梨文芸協会会員。小説合評会会員。著書「まいぺえら」、「道祖神祭り」、「力を抜いて自然体」等。</p>
児 童 文 学	<p><b>宮澤 賢治(みやざわ けんじ)</b> 甲府市生まれ。東京大学文学部卒、院・修了。白百合女子大学名誉教授。同人誌「無人塔」(詩誌)、「こぶんたん」(児童文学誌)等で指導。元日本ペンクラブ・元日本児童文学学会・元日本近代文学会会員。著書に『宮澤賢治-近代と反近代』『夏目漱石の文体』『北原白秋-童心のかなたに』等がある。</p> <p><b>楠本 君恵(くすもと きみえ)</b> 南アルプス市(旧榑形町)生まれ。旧姓沢登。東京都在住。山梨大学卒業後県下の中学校教諭。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。法政大学名誉教授。日・英・米のルイス・キャロル協会会員。元『遊族』同人。旺文社児童文学翻訳賞・日本児童文学学会奨励賞受賞。「アリス」「マザー・グース」に関する著書・翻訳あり。</p> <p><b>沢島 一郎(さわとり いちろう)</b> 笛吹市在住。山日文芸・児童文学部門入選掲載21回。やまなし県民文化祭賞(児童文学)4回、同優秀賞(児童文学)5回受賞。作品集『風船かざらの小さな願い』、絵本『浮かれ太鼓』自費出版。児童文学同人「こぶんたん」前代表。山梨県社会福祉協議会のことばきマスターに登録。デイサービス等にて自作品の朗読を披露。</p>
エ ッ セ イ	<p><b>入倉 文子(いりくら あやこ)</b> 甲府市生まれ。東京女子大学卒業後、山梨英和中・高等学校教諭、山梨英和大学非常勤講師を経て、現在、山梨県歯科衛生専門学校講師。「国語専門教室つばさ」を開き、文章指導を実施。</p> <p><b>都築 隆広(つづき たかひろ)</b> 市川三郷町生まれ、昭和町育ち。「文芸思潮」エッセイ賞選考委員。「看板屋の恋」で文学界新人賞受賞。『真打ち! ななはちゃん師匠と語ると死ぬはなし』(朱鴉更紗の名義)でスクウェア・エニックスライトノベル大賞期待賞、共作「長者屋敷の寝られぬ座敷」で佐々木喜善賞(遠野文化奨励賞)を受賞。CGアニメ映画「死が美しいなんて誰が言った」共同脚本。</p>
詩	<p><b>安藤 一宏(あんどう かずひろ)</b> 鯉沢町(現富士川町)生まれ。東京農業大学農芸化学科卒。山梨県庁で農業技術研究に従事。日本現代詩人会・日本詩人クラブ会員、山梨県詩人会前会長、詩誌「稜線」、「乾季」、「あうん」同人。著書に詩集「夢の原型」「不思議な詩 詩の不思議」等がある。</p> <p><b>雨宮 慶子(あめみや けいこ)</b> 甲府市生まれ。詩集に、「生掛」(紫陽社)「熱射」「円錐の墟」(書肆山田)、CD-ROM「アジア物語」(翔泳社)、評論「宮沢賢治の心象スケッチをめぐる」(西川徹郎研究第三集 所収・西屋書店)、その他詞華集等。総合文芸誌「蘭亭記」元編集人。富士吉田文化祭詩部門選者。日本現代詩歌文学館評議員。山梨日日新聞月間詩壇選者。</p>
短 歌	<p><b>三枝 浩樹(さいぐさ ひろき)</b> 甲府市生まれ。「反措定」「かりん」「りとむ」の創刊に参画。現在「沃野」編集発行人。日本歌人クラブ・現代歌人協会、山梨県歌人協会会員。著書に歌集「朝の歌」「銀の驟雨」、評論集「八木重吉たましひのスケッチ」等がある。山日文芸選者。短歌研究賞、若山牧水賞、迢空賞、野口賞、山梨県文化賞特別賞受賞。</p> <p><b>河野 小百合(こうの さゆり)</b> 山梨県生まれ。「みざわ」短歌会に入会し、上野久雄に師事。現在代表。山梨日日新聞歌壇選者。NHK学園短歌講師。山梨英和大学メイプルカレッジ講師。なかみち短歌大会ジュニアの部選者。第6回歌壇賞受賞。現代歌人協会会員。日本歌人クラブ会員・著書に歌集「私をジャムにしたなら」「マリアのいない夏」「雲のにおい」</p> <p><b>白倉 一民(しらくら かずたみ)</b> 安都玉村(現 北杜市高根町)生まれ。「新宴」に入会、大野とくよに師事(現在・代表)。日本歌人クラブ会員(山梨県代表幹事)。現代歌人協会会員。山梨県歌人協会(幹事)。歌集に「地図のゆくえ」がある。</p> <p><b>青木 道枝(あおき みちえ)</b> 甲府市生まれ。二十代より「アララギ」に入会。「アララギ」終刊後は「新アララギ」会員。「玉ゆら」にも所属。現在は山梨県歌人協会会長。現代歌人協会会員、日本歌人クラブ会員。歌集に「光のながれに」「森のひかり」「ひかりを抱きて」「時を織る」</p>
俳 句	<p><b>井上 康明(いのうえ やすあき)</b> 二十代から俳句を始め、「雲母」入会・飯田龍太に師事。廣瀬直人主宰「白露」創刊同人。「郭公」創刊。毎日俳壇・山梨日日新聞俳句欄選者。著書に句集「四方」「峡谷」「飯田蛇笏の百句」がある。</p> <p><b>保坂 敏子(ほさか としこ)</b> 山梨県生まれ。「雲母」入会・飯田龍太に師事。「雲母」同人、「白露」創刊同人、「今」創刊同人。第7回雲母選賞受賞。著書に句集「芽山椒」、アンソロジー「現代俳句の新鋭」、俳句鑑賞「鑑賞 女性俳句の世界」第四巻等がある。</p> <p><b>長田 群青(おさだ ぐんじょう)</b> 市川三郷町在住。「雲母」、「白露」を経て、現在「郭公」編集同人。飯田龍太、廣瀬直人に師事。山梨文化学園講師。著書に句集「霽日」「押し手沢」がある。</p> <p><b>原 霞(はら かずみ)</b> 北杜市在住。「浮野」同人。(公社)俳人協会山梨支部副支部長。東伊豆「河津桜と雛のつるし飾り俳句大会」選者。「浮野」新人賞、同人賞、浮野大賞、第40回埼玉文芸賞、第48回埼玉俳句賞正賞受賞。句集「綾」「翼を買ひに」がある。</p>
川 柳	<p><b>浅川 のぼる(あさかわ のぼる)</b> 韮崎市在住。川柳甲斐野社会員、元韮崎市文化協会会長、元山梨県文化協会連合会副会長、山梨県川柳協会会長を経て名誉会長。山梨県芸術祭賞1回、山梨県民文化祭賞2回、山梨県民文化祭優秀賞9回受賞。春雨賞受賞。山梨県文化賞(奨励賞)。著書に「川柳句集」浅川のぼるがある。</p> <p><b>五味 今夫(ごみ いまお)</b> 北杜市在住。川柳甲斐野社会員。山梨県川柳協会副会長。山梨県民文化祭賞1回、山梨県民文化祭優秀賞2回、甲府市議会議長賞、甲府市教育長賞、山梨日日新聞社社長賞、川柳甲斐野社 東峰賞・優秀賞 他。</p> <p><b>保坂 幸江(ほさか ゆきえ)</b> 甲府市在住。「枝の会」顧問。元「蛭」、「展望」、「川柳大学」、「ひろば」、「轍」所属。山梨県民文化祭(川柳)優秀賞2回受賞。「蛭」合同句集、時実新子監修「川柳の森」合同句集に参加。</p> <p><b>青柳 なか子(あおやぎ なかこ)</b> 甲府市在住。川柳甲斐野誌同人。元山梨県川柳協会事務局長。山梨県民文化祭賞2回、優秀賞1回受賞。東峰賞・優秀賞、山梨県文化連合会長賞、テレビ山梨社長賞受賞。</p>